

# 岩手社保協ニュース

2022年4月26日(火) No3 (通刊125号)

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36 浅沼ビル6F

TEL・FAX 019-654-1669

E-mail [i-shahokyo@aurora.ocn.ne.jp](mailto:i-shahokyo@aurora.ocn.ne.jp)

## 介護保険料や後期高齢者医療保険料が引き上げられる中 高齢者の生活実態無視の年金額0.4%引き下げ 安心の年金に変えよう

### 老齢基礎年金満額で年3,100円、月259円引き下げ

新型コロナの感染拡大と食料、燃料などの物価上昇が続く中、岸田政権は22年度の年金額を0.4%引き下げることを選び、6月の支給から実施します。2年連続の引き下げです。

40年間保険料を払った場合、老齢基礎年金の満額の年額780,900円・月額65,075円(21年度)が、年額777,800円・月額64,816円と年額3,100円・月額259円の引き下げとなります。厚生年金(平均的な会社員と専業主婦の世帯)では、月219,593円(903円減)になります。年金生活者の実態を見ない、岸田政権に怒りの声があがっています。



4・15年金支給日宣伝行動(年金者組合大船渡支部)

### 安倍・岸田政権の10年間で6.7%もマイナスに

毎年改定される年金額は、物価と賃金の動向で増減が決まります。今回は、物価の変動率(21年平均)はマイナス0.2%、賃金の変動率(18~20年度)はマイナス0.4%でした。2016年度改悪の「年金カット法」により、「賃金変動率が物価変動率を下回る場合は賃金変動率に合わせ改定する」としたために、0.4%の減額となりました。

2004年改悪のマクロ経済スライド(保険料を納める人の減少率と平均余命の伸び率を合わせてマイナスにする)の結果、安倍・菅・岸田政権の10年間で物価は5.6%上昇しているにもかかわらず、年金額は1.1%引き下げられ、実質6.7%もマイナスとなりました。

介護保険料・利用料、後期高齢者医療保険料は上がり続け、岸田政権は75歳以上医療費窓口負担の2倍化も強行しようとしています。マクロ経済スライドを廃止し、安心の年金に変えましょう。

## 加齢性難聴者の補聴器購入に対する 公的支援制度の創設を求める請願採択の状況

補助事業実施	大船渡市、遠野市、九戸村
意見書採択 (県と4市2町)	岩手県(21.10.13) 大槌町(21.3)、釜石市(21.9.10)、花巻市(21.12.14)、滝沢市(22.2.7) 岩手町(22.3.16)、陸前高田市(22.3.18)
趣旨採択	北上市(22.3.25)
不採択	盛岡市

( )は請願採択した年月日

岩手県と24市町村で採択 (一部・趣旨採択含む)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼし、医療をはじめとした社会保障・福祉体制の脆弱さを明らかにしました。

岩手医労連はこの間、岩手県議会と各市町村議会への自治体請願活動を進め、不採択となった自治体にも粘り強く働きかけを行ってきました。

平泉町は21年3月議会では不採択でしたが、議員発議によって21年9月議会で採択されました。北上市は21年3月議会では不採択でしたが、22年3月議会で採択されました。(右囲み参照)

22年3月現在、採択した自治体は県を含め17自治体、一部・趣旨採択は8自治体、合計25自治体となりました。

いのちを守ることへの消極的な対応を許さず、医療・介護・福祉の拡充を求めましょう。

新「いのち署名」請願した矢巾、北上、大船渡の本会議で採択！

北上市議会本会議で逆転の全項目採択に！

新「いのち署名」の3月議会への自治体請願は、大船渡市は3項目のうち、1、2採択の一部採択でしたが、矢巾町、北上市は全項目が採択されました。

特に、北上市議会では前回、同様の請願を否決された経緯があり、今回はリベンジするつもりで臨みました。委員会では、1・2項目のみの採択となりましたが、昨年否決されたことを考えれば納得のいく結果でした。しかし、本会議では見事、委員会の結果を覆し、全項目採択となりました。

矢巾町議会では意見書提出先を医労連の案より拡大し、関係各大臣の他、衆参議長、内閣官房長官、県出身国会議員に提出されました。これらは、地元組合の執行委員長、支部長名の連名で請願提出したことが大きな要因だったと思います。

(岩手医労連2022春闘ニュースより)

	自治体名
<b>採 択 (17)</b> 岩手県 5市・8町・3村	岩手県 (21.3月議会) 陸前高田市、西和賀町、住田町、大槌町、普代村、田野畑村 (以上21.3月議会) 宮古市、久慈市、奥州市、雫石町、山田町、軽米町 (以上21.6月議会) 平泉町、九戸村 (以上21.9月議会) 北上市、矢巾町 (以上22.3月議会)
<b>一部・趣旨採択 (8)</b> 5市・3町	二戸市、八幡平市、岩泉町 (以上21.3月議会)、花巻市、岩手町 (以上21.6月議会) 紫波町 (21.7月議会)、遠野市 (21.9月議会)、大船渡市 (22.3月議会)
<b>不採択 (5)</b> 3市・2町	盛岡市、(21.3月議会)、滝沢市、金ヶ崎町 (以上21.6月議会) 釜石市、洋野町 (以上21.9月議会)、

・福祉の拡充を求めましょう。

いのち・くらし・社会保障立て直せ一斉行動

◆一斉宣伝行動

4月25日(月) 12:15~12:45 野村證券前

◆署名提出行動(全労連・医労連・民医連・自治労連・社保協)

5月26日(木) 12:00~衆議院第一議員会館

新しいのち署名・介護改善署名・75歳医療費2倍化中止署名が手元にありましたら、上部団体又は岩手社保協までお送りください。

連続講座「岩手の再生」「新型コロナウイルスと市民生活」

5月14日(土) 13:30~15:30

県民会館第1会議室 会場およびオンライン

講座:「岩手における地域生活課題の動向—コロナ禍の影響も踏まえて」

講師: 菅野道生さん(県立大学社会福祉学部准教授)

報告:「コロナ禍における

インクルーシブなしくみづくり」

山屋理恵さん(NPO法人インクルいわて理事長)

主催: NPO法人岩手地域総合研究所

# 75 歳以上高齢者医療の窓口負担 2 倍化中止を 緊急の団体署名にご協力を！

## 1 人あたり年 34,000 円の負担増に

コロナ禍の中、今年の 10 月から一定の所得がある 75 歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担が、1 割から 2 割に引き上げられようとしています。年収 200 万円以上（単身）、年収合計 320 万円以上（複数世帯）の後期高齢者約 370 万人（20%）が対象で、岩手県では 3 万 400 人（14.2%）とされています。

\* — \* — \* — \* — \* — \*

政府の説明では、2 割化になれば 1 人あたり平均窓口負担額（年間）は、1 割負担の 81,000 円から、115,000 円に 34,000 円増加します。政府は、負担増の影響が大きい外来受診患者について、3 年間は 1 か月の負担増を 3,000 円以内に抑える「配慮措置」を行うとしていますが、それでも 8,000 円程度の軽減にしかなりません。依然、年平均 26,000 円の負担増です。しかも、3 年たてば窓口負担は跳ね上がります。

高齢者の 70% は年金だけを頼りに生活しています。日本高齢期運動連絡会の吉岡尚志代表委員は、「75 歳以上の 2 倍化の基準額 200 万円をさらに引き下げる可能性を厚労大臣も否定していない」と指摘しています。

## 1 割負担の今でも窓口負担割合は過重

75 歳以上の高齢者と 75 歳未満の人を比べると、年間受診回数（100 人当り）は、75 歳以上が外来で 2.3 倍、入院では 6.2 倍にもなります。年を重ねるほど受診が必要になります。

収入に占める医療費窓口負担の割合は、30～39 歳が 1.0% であるのに対し、75～79 歳では 3.9%、80～84 歳で 4.6%、85 歳以上では 5.6% に及びます。原則 1 割負担の現在でも、高齢者の窓口負担は過重です。

## 参議院選の争点に押し上げ、2 倍化中止を！

日本高齢期運動連絡会が 75 歳以上の高齢者に行った調査では、窓口負担が 2 割になった場合に「受診する科を減らす」「通院回数を減らす」「薬の飲み方を自分で調整する」等、受診を控えるとの回答が約 3 割を占めました。

政府は 2016～21 年度の 6 年間で社会保障費の「自然増」を計 8300 億円削減し、22 年度の予算案でも診療報酬の引き下げや 75 歳以上医療費窓口負担 2 倍化等によって 2200 億円削減しています。

高齢者のいのちを脅かす 2 倍化を、コロナ禍で強行することに断固反対しましょう。

## 2 月定例県議会 「補足給付見直しの中止を求める請願」不採択

入所者の 5,289 人（38%）が食費負担増に。預貯金要件の見直しで月 68,000 円負担増の人も！

### 低所得者の痛みに背を向ける政党・会派に怒りの声

いわての介護を良くする会が昨年 12 月 1 日に提出した「介護保険施設における補足給付見直しの中止を求める請願」は、希望いわて・日本共産党・社民党・無所属が賛成しましたが、自民党、いわて新政会、いわて県民クラブ、公明党の反対で不採択となりました。

利用者・家族からは、怒りと落胆の声が上がっています。

### 県の影響調査でも重大な結果が

請願の審査では、県による影響調査結果が示され

ました。所得区分の新設により、食費の負担額が 1 日 650 円から 1360 円に引き上げられた入所者は月 2.2 万円の負担増になります。補足給付認定者の 38%、5,289 人が対象となりました。

また、預貯金要件の見直しにより補足給付の対象外となった入所者は 739 人で、被該当者の 63% を占めました。最も影響額が大きい方で月 68,000 円（年 816,000 円）もの負担増です。

重大な影響の調査結果が示されたにもかかわらず、不採択となったことは低所得者の痛みに背を向ける政党・会派の姿を示すものとなりました。

（日本共産党県議団、22 年 2 月定例県議会報告より）

このままでいいの？

介護保険制度を考えるシンポジウム

～介護が崩壊しないために～

参加費無料

どなたでもご参加  
いただけます

**[日時]** ▶▶ 5月18日(水) 13:30～15:00

**[会場]** ▶▶ 岩手県高校教育会館  
(盛岡市志家町11-13)

駐車場はありませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。

- 講演「コロナ禍で焦点化した介護問題(仮)」  
全日本民主医療機関連合会  
事務局次長 林 泰則氏 (オンラインでの講演です)
- パネリスト ・介護サービス利用者やその家族  
(調整中) ・認知症対応型通所介護事業所代表者  
・認知症の人と家族の会 世話人  
・盛岡地区介護支援専門員協議会会員



全日本民主医療  
事務局次長  
林 泰則 氏

### 参加申し込み

氏名	連絡先



申し込み・問い合わせ先 盛岡医療生活協同組合組織部(担当:鈴木)  
電話 019-635-6253 Fax 019-635-1736

QRコードからも  
申し込みできます

主催団体:いわての介護を良くする会／岩手県社会保障推進協議会